

- 1 日時 平成23年 6月 3日 (金)
- 2 学年・組 第 3学年 4組 (男子17名 女子18名 計35名)
- 3 場所 第 3学年 4組 教室
- 4 単元名 「 平和の誓い 」
- 5 単元について

○教材観

本教材は、8月6日の広島平和記念式典での子ども代表による「平和への誓い」を資料としている。戦争の悲惨さが伝わりにくくなっている昨今、小学生たちが子どもピースサミットでの話し合いを経て作り出す「平和への誓い」には、子どもたちのヒロシマへの思いが込められている。その内容の比較・分析から、もし自分が「平和の誓い」を作るとしたら、どのような構成で考え、どのような言葉や文を取り入れるのかを考えさせる教材である。第1時では、過去の「子ども平和宣言」の中に、どのような内容や思いが込められているかを分析することで、自分の「平和」への思いをつくる準備を行う。それをもとに第2時以降で、キーワードをもとに自分の思いを文章化することで、相手に伝える力を養うことができる教材でもある。過去3年分の平和宣言の、どのような点に着目し、何をどのように工夫することで、自分の思いが伝えやすいかを考えさせていきたい。

○生徒観

このクラスの生徒は、今までの言語数理科の授業で、一つひとつの資料を丁寧に読みこなすことで、文章を分析する力が少しずつ身についてきている。そして、少人数集団であればその中での交流を通して、自分の考えを深められるなどの力が育っている。しかし、自分の考えをわかりやすく相手に伝えること、全体の場で発表することに対しては苦手意識が強い生徒が多いので、この教材では、資料の読み取りやその分析を通して、自分の意見をはっきりと表現し、人に向かって発表できる文章の作成ができるように適切な指導を行いたい。

○指導観

指導にあたっては、資料の読み取りや分析により、自分の考えとして読み手に伝わるような文章の作成を目標としたい。そのためには、情報を取り出す際にマーカーで線を引かせるなど、段階を踏んで整理できるようにする。また、個人で考える時間を確保し、自分の考えを持った後にグループ交流の時間をとることで、思考を深めさせる。机間指導の際に、生徒が自信をもてるような声かけをするとともに、支援が必要な生徒については、具体的な指示を出していきたい。

6 単元の目標

3つの資料から、平和についてみんなが訴えたいこと（共通点）や、その年独自の工夫がなされているところ（独自の工夫）を読み取り、自分の言葉でまとめ発表することができる。

7 単元の評価規準

情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
3年間の「平和への誓い」を段落に分け、それぞれの段落に書かれている内容を読み取ることができる。	過去の平和への誓いを分析し、自分の平和への誓いに取り上げたい項目と伝えたい言葉や文を考えることができる。	自分が伝えたい項目にあった言葉や文を取り入れた平和への誓いを書くことができる。

	学習活動	情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
第1時	年間の「平和への誓い」を段落に分け、それぞれの段落に書かれている内容を読み取る。	○		
第2時	過去の「平和への誓い」に書かれている文章を参考にして、自分の「平和への誓い」に取り上げたい項目と伝えたい言葉や文章を考える。	○	○	
第3時	自分が伝えたい項目にあった言葉や文を取り入れた、「平和への誓い」を、書く。		○	○
第4時	個人で作成した「平和への誓い」を交流して、グループの「平和への誓い」を作成する。			○

8 第1時

(1) 本時のねらい

3年間の「平和への誓い」に書かれている内容を読み取ることができる。

(2) 本時の評価基準

評価規準	十分満足できると判断できる基準	概ね満足できると判断できる基準	努力を要する生徒への手立て
3年間の「平和への誓い」を段落に分け、それぞれの段落に書かれている内容を読み取ることができる。	3年間の「平和への誓い」を5段落以上に分けて捉え、それぞれの段落に書かれている内容を、要約して書いている。	3年間の「平和への誓い」を4段落以上に分けて捉え、それぞれの段落に書かれている内容を、おおむね捉えて書いている。	机間指導により、作業の進行度をはかり、必要に応じた解説や指摘などの支援を行う。

(3) 準備物

テキスト・ワークシート

(4) 指導過程

	主な発問・指示	学習活動	教師の指導と評価
導入 10分	<p>◆8・6の「広島平和記念式典」で、毎年小学生が「平和への誓い」を宣言する。あなたが作るとしたらどんな言葉で伝えるか。3年間の資料を基に考え、世界の人々に発信しよう。</p> <p>◆平成21年度の式典の様子を見てみよう。</p> <p>◆過去3年分の「平和への誓い」を読み取ろう 「平和への誓いに書かれていることを読み取る」</p>	<p>○本時の課題を把握する。</p> <p>○映像を見て平和宣言のイメージをつかむ</p> <p>○目標を確認する</p>	単元の見通しを示す
	◆過去3年間の資料には何が書かれているのか、段落に分け書かれている内容をまとめ、簡単な言葉で表そう。	○キーワードに下線を引くなどして、過去の平和への誓いの内容を読み取る。	

<p>発 展 37 分</p>	<p>◆グループで相談しよう ◆自分の考えを見直そう ◆発表しよう</p> <p>◆21年度のキーワードは何だろう。</p> <p>◆20年度は・・・</p> <p>◆19年度は・・・</p> <p>◆共通して書かれている内容は何か。 ◆共通する内容が書かれた理由は何か。 ◆独自に書かれている内容は何か。 ◆なぜ独自の内容を入れているのだろうか。</p>	<p>○各年度毎に、書かれている内容を発表する。</p> <p>○平成21年度 ①命の大切さ ②原爆の惨状 ③世界の現状 ④解決方法 ⑤私の誓い</p> <p>○平成20年度 ①原爆の惨状 ②生き抜いた人々への感謝 ③世界の現状 ④解決方法 ⑤私の誓い</p> <p>○平成19年度 ①原爆の惨状 ②復興の力 ③身近な争い ④解決方法 ⑤私の誓い</p> <p>○なぜそのような言葉でまとめたのか、理由を説明する。</p> <p>○共通している項目と独自の項目に分け、その理由を考える</p>	<p>自分の考えの曖昧さを認識し、人の意見を参考にさせる。他者の考えを参考にして文章を要約させる</p> <p>～言語力のため表による～ キーワードの理由を説明させる。</p> <p>共通点に着目させ、強い訴えを知らせる</p> <p>順番を変えることも独自性であることを伝える。</p>
<p>ま と め 3 分</p>	<p>(4)本時を振り返り、次時の課題を知る。 ◆次は自分の誓いに使いたい項目と言葉を選び、文章化しよう。</p>		

(5) 板書計画

<p>平和の誓い 66年目の夏に向かって資料</p> <p>平成21年度 命の大切さ 原爆の惨状 世界の現状 解決方法 私の誓い</p> <p>平成20年度 原爆の惨状 生き抜いた人々への感謝 世界の現状 解決方法 私の誓い</p> <p>平成19年度 原爆の惨状 復興の力 身近な争い 解決方法 私の誓い</p>	<p>共通 原爆の様子、世界の現状、解決方法、誓い</p> <p>独自 平成21年度 命の大切さ 平成20年度 生き抜いた人々への感謝 平成19年度 復興の力</p> <p>○どの言葉が最も自分の気持ちを表しやすいか ○タイトル「平和の誓い」</p>
---	---